

独り芝居

三島由紀夫 招魂の賦

稀代の作家 三島由紀夫が山口県周南市に蘇る!!

令和四年の東京初演を皮切りに、新潟・札幌・名古屋能楽堂など各地で上演され、大きな反響を呼んだ本作。

この秋、ついに待望の西日本初となる山口県周南公演が決定しました。

日本のみならず世界に名を馳せた文学者・三島由紀夫。

俳優・本多菊雄が、その類まれな世界観を全身で体現し、幽玄の舞台に降り立ちます。

「日本人の目覚め」を訴えた三島由紀夫の意志が、今を生きる私たちの胸に静かに響き渡ります。



【出演】本多菊雄 HONDA Kikuo

昭和40年1月20生まれ、新潟県燕市出身。二十歳で俳優を志し、曲折を経て吉田鋼太郎主宰の劇団AUNIに入団。約10年間シェイスクピア作品を中心に舞台経験を積み、以後は映画・舞台・テレビCMなど幅広い分野で活躍。シリアルからアウトローまで演じ分ける演技力と、社会的のテーマに踏み込む創作姿勢が特徴で、演劇を通じて人間の「覚悟」や「生き様」に迫る作品づくりを信条としている。教育・技術系の資格を持ち、俳優業の一環で始めたフルコンタクト空手は黒帯に。堅実かつ多才な俳優として高い評価を受けている。近年は『独り芝居 三島由紀夫 招魂の賦』が全国で好評を博し、今、最も注目される話題の役者である。

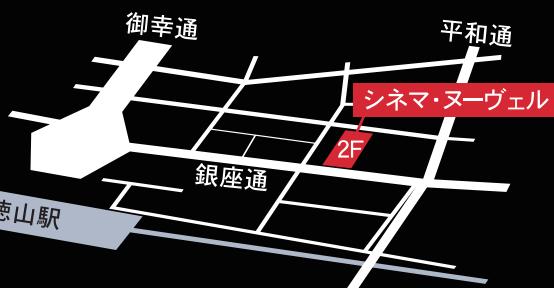
令和7年11月1日 土 夜の部18:30~

11月2日 日 昼の部14:00~

11月2日 日 夜の部18:30~

11月3日 月 祝 昼の部14:00~

※各公演、開場は30分前



【演出】川口典成 KAWAGUCHI Norishige

昭和59年9月8日生まれ、広島県広島市出身。東京大学卒業、同大学修士修了。現在は実験的劇場であるドナルカ・パッカーン名義で活動。日本近代戯曲を背景となる歴史とともに読み解き、現在の演劇として再創造する上演を特徴とする演出家。多様な表現手法を組み合わせ、俳優の内面と戯曲の構造を、丁寧に紐解くことで、現代の観客に新たな演劇体験を提供している。日本演出者協会「日本の戯曲研修セミナー」ファシリテータ。日本大学芸術学部演劇学科非常勤講師。代表作『女の一生』作・森本薫、糸あやつり人形一糸座の公演『おんによろ盛衰記』作・木下順二、『対話篇 美しい星』作・三島由紀夫、『ファウスト 第一部』作・ゲーテ、他多数。

料金 一般5,000円(全席自由)

※高校生以下 無料招待席あり(各公演10席限定)

■ プレイガイド

周南市文化会館 スターピアくだまつ 光市民ホール
他、山口県下 各プレイガイドにて販売中

■ 会場 シネマ・ヌーヴェル

山口県周南市銀座2-18 (毎日興業銀座ビル2F)
※JR「徳山駅」から徒歩5分

■ お問合せ

Tel : 090-1683-9191(藤田)
E-mail:digitalstudio369@ymail.ne.jp

2025 Solo act live MISHIMA YUKIO SHOKON NO FU